

図書室だより

No.27



発行：豊富町教育委員会・豊富町図書室／平成30年 3月29日
 問合せ：NPO法人くらすた豊富 豊富町図書室（ふらっと★きた）Tel：82-2211
 定住ホームページ<https://flat-kita.jp/> 蔵書検索<http://www.lib-finder.net/toyotomi/>

図書室の利用について

利用時間（閲覧・返却）：9:00から21:00
 //（カウンター受付）：10:00から20:00
 日曜日は18:00閉館
 貸出冊数：お一人様10冊まで
 返却期限：2週間(返却日から1週間まで延長可能です)
 休館日：12月31日～1月5日

ホームページがリニューアルしました♪

長い長い冬も終わりに近づき、まもなくウキウキの春がやってきますね。

このたび「ふらっと★きた」のホームページが新しくなりました。館内イベントのお知らせや、図書室の情報も、もちろんお届けします。Facebookもありますよ。

アクセス方法

<https://flat-kita.jp/> ←直接入力。

「くらすた豊富」で検索。ページ下の

「ふらっと★きた」をクリック。

スマホ・携帯からはQRコードからどうぞ。→



寄附金

今年度、ご寄附いただきました豊富ロータリークラブ様には、心からお礼申し上げます。寄附金で児童書25冊を購入しました。



返却された本に、汚れや破れ、ページを折った跡などが見受けられることがあります。図書室の本は町の財産です。借りた時は、汚したり本を傷めないように、丁寧に扱ってください。また、もし汚れなどをつけてしまった場合やそのような本を発見した場合は返却時に職員に教えてください。

話題の新刊

小説

- ☆百年泥/石井遊佳
第158回芥川賞受賞作品！
- ☆屍人荘の殺人/今村昌弘
第27回鮎川哲也賞受賞作！
- ☆風かおる/葉室麟
- ☆踊る星座/青山七恵
- ☆星の子/今村夏子
- ☆希望が死んだ夜に/天祢涼
- ☆俺はエージェント/大沢在昌
- ☆ノーマンズランド/菅田哲也
- ☆東京ワイン会ピープル/樹林伸
- ☆家康、江戸を建てる/門井慶喜
- ☆道標 東京湾臨海署安積班/今野敏



生活

- ☆おいしい大地、北海道！/すすきもも
- ☆ゆったり着られる大人服
- ☆ゆるめる力骨ストレッチ/松村卓
- ☆たのしいあんこの本/なかしましほ
- ☆夫の後始末/曾野綾子
- ☆怪魚大全/小塚拓矢
- ☆やらない理由/カレー沢薫



絵本・児童書

- ☆いっさいはん/minchi
- ☆ノラネコぐんだん あいうえお/工藤ノリコ
- ☆喜ばれる季節の折り紙/宮本真理子
- ☆仮面ライダー大図鑑デラックス
- ☆日本史探偵コナン1～8/青山剛昌
- ☆魔法の庭ものがたり21/あんびるやすこ
- ☆おばけトリックアート/北岡明佳
- ☆しずくちゃん(29)しずくの森のお正月/ぎぼりつこ



本屋大賞

いよいよ毎年恒例、本屋大賞ノミネート発表の時期がやってきました！今年の本屋大賞は全国の500店以上の書店員により2か月の投票期間で選び抜かれた10作品！！

栄光に輝くのは、はたしてどの作品でしょうか。スタッフのPOPと共に『本屋大賞』のコーナーを作りましたので是非、読んでみてください！

大賞発表

4月10日

おたのしみ!!



ふら★オシ本

この世は落語 / 中野 翠

毎晩落語を聴きながら眠りにつくという著者が、落語の楽しさをわかりやすく紹介したエッセイ。様々な落語の噺（はなし）をとりあげてあらすじや聞き所を説明しているの、あまり落語を聴いたことがない人にもおすすめです。

各話の冒頭で、著者が日常生活の失敗や怒りやしょうもない出来事を、落語の噺になぞられて笑い飛ばしているのが、なんともおかしいです。著者が落語の良さは「説明しがたいおかしさ」にあると言っているとおり、落語の登場人物たちは皆ノンキなので（泥棒さえも！）、落語を聴いているとおおらかな気分になってくようです。

実際の落語は、たまにテレビやラジオで聴くこともできます。本とあわせてのんびり楽しんでみてはいかがでしょうか。

ふら★オシ本

マスカレード・ナイト / 東野 圭吾

木村拓哉と長澤まさみで映画化が決まった「マスカレード」シリーズ第3弾。都内一流ホテルを舞台に、コンシェルジュの山岸と、警視庁捜査一課の新田が難事件に挑むミステリー。

次々に怪しい宿泊客が登場するため、誰が犯人なのか？を推理するのが難しいけれど面白い。また、決して「できない」とは言わないコンシェルジュがお客様からの無理難題をどうやって解決していくかが見どころになっていて、お仕事小説としても楽しめます。ラストは爽やかで気になる展開もあり、第4弾が待ち遠しい。

このシリーズをまだ読んでなければ、『マスカレード・ホテル』から先に読むことをオススメします。

